

畜産みやぎ

題	字
宮城県知事	村井嘉浩
発行所	
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号	
一般社団法人 宮城県畜産協会	
電話 022-298-8473	
編集発行人	
佐野和夫	
印刷所	
(株)東北プリント	



「第75回東北鞍馬競技大会」 令和7年4月20日 (写真提供：涌谷町)

もくじ

CONTENTS

暑熱対策事業等の紹介……………	2	農業大学校生の抱負……………	9
令和6年度生乳需給状況及び		第60回宮城県ブラックアンドホワイトショウ	
令和7年度生乳計画生産目標について……………	3	開催のお知らせ……………	10
令和7年度全農宮城県本部畜産部の事業方針……………	4-5	価格安定対策事業の発動状況について……………	10
令和6年度家畜共済事業実績について……………	6	New face ……………	11-12
家畜の病気と向き合う			
～牛伝染性リンパ腫の対策について～……………	7		
畜試便り……………	8		
衛生便り……………	9		



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <https://www.miyagi-chikusan.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



暑熱対策事業等の紹介

宮城県農政部畜産課

宮城県では、養鶏農家、養豚農家、酪農家を対象に暑熱対策を支援するための事業を実施しております。

1 採卵養鶏・養豚農家の暑熱対策を目的とした「ICT機器等の導入支援（事業名：多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業）」

昨今の養鶏・養豚業界は、飼料価格高騰や衛生対策費の増大などに加えて、人口減少や少子高齢化による構造的な人手不足により、農場経営は厳しい状況下にあります。また、人手不足の改善や収益性の向上を目的とした農場のスマート化には、通信環境の整備や多額の初期費用など、近年の物価高騰による影響もあり、導入のハードルはさらに高まってきています。

宮城県では、「多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業」のうち、採卵養鶏・養豚ICT等技術導入支援メニューを実施しております。本事業では、農場での生産性の向上や労働力の低減に寄与する、ICT・IoT機器等導入整備費用の補助を受けることが可能です。今年度は、これまでの「ネット環境セットメニュー」「機器単独メニュー」に加えて、年々被害が増大している暑熱による影響に対応するため、新たに「暑熱対策メニュー」を新設しました。

また、今年度はICT・IoT機器等導入による効果について、実際にICT・IoT機器等を導入した生産者や、機器メーカーの担当者を講師とした研修会を7月頃に開催予定です。

- ・補助率 1/2 以内
- ・補助上限 ネット環境セットメニュー：5,600千円
機器単独メニュー：2,800千円
暑熱対策メニュー：2,000千円
- ・補助対象 ICT・IoT機器等の導入整備費用

2 酪農家の暑熱対策設備の導入支援「酪農暑熱対策推進事業」

牛、特に乳用牛は発酵熱を伴うルーメンを基軸とした代謝生理システムや生来の遺伝的由来により、寒冷には強いものの暑熱ストレスに非常に弱く、夏場は呼吸量の増加、採食量の減少等により乳量減少や繁殖成績低下等、様々な悪影響があります。令和5年及び6年は、特に東北地域で夏季の乳量が低下しました。

宮城県では、酪農家の暑熱対策設備設置を支援するため、令和7年度新規事業として「酪農暑熱対策推進事業」を開始いたしました。事前要望調査は終了しておりますが、予算に若干の余裕があるため、追加募集を検討しております。導入する暑熱対策設備等は新品のものに限り、事業費には対策設備の輸送・設置費用を含むことができます（既存設備の更新費用は対象外）。事業計画承認前に購入したものは対象となりませんのでご注意ください。追加募集につきましては、現在調整中ですので、酪農協等を通じて追ってご案内いたします。

- ・補助率 1/3 以内
- ・補助上限 500千円
- ・補助対象 送風ファン（インバーター等付帯設備を含む）や細霧機の設置、牛舎屋根への遮熱塗料施工（石灰塗布を除く）等、暑熱対策に必要な設備の導入費用
- ・事業実施主体 酪農協

事業に関するご質問等ございましたら、県の窓口部署までお問い合わせ願います。暑さが本格化する前に、ぜひ暑熱対策設備の導入をご検討ください。

【窓口】 1の事業 最寄りの家畜保健衛生所等

2の事業 宮城県畜産課生産振興班（直通 022-211-2853）

（生産振興班 庄司 宙希・鈴木 美紀）

令和6年度生乳需給状況及び令和7年度生乳計画生産目標について

東北生乳販売農業協同組合連合会宮城支所
みやぎの酪農農業協同組合

1. 令和6年度生乳需給状況

生乳需給については、令和4年度から複数回の乳価値上げが行われ、乳価値上げによる小売価格への価格転嫁の影響により飲用牛乳の需要低迷が続いたため、飲用向けは前年比97.7%と大幅に減少し、脱脂粉乳・バター等加工向けは増加に転じたため、前年比104.1%の実績となりました。

また、生乳生産は、配合飼料価格等生産コストの高止まりの影響から経営環境が悪化し、乳価値上げが行われたものの自助努力だけでは経営継続が困難となり廃業が続いております。今年度は宮城県全体で26戸が廃業したことに加え、夏の猛暑等の影響から生乳生産量は大幅に減少したため、受託乳量は90,267トン、前年比93.6%の実績となりました。

2. 令和7年度生乳計画生産目標

(一社)中央酪農会議の基本方針に基づき、東北生乳販連が生乳の出荷目標を設定。宮城県の出荷目標数量は91,400トン、前年比101.3%で設定されました。

宮城県生乳受託販売実績

(単位：kg、%)

月 団体名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期計		
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		出荷戸数	前年比
みやぎの	4,869,330	93.8	5,020,018	95.8	4,681,427	93.0	4,514,424	88.2	4,285,790	92.3	4,260,466	92.5	27,631,455	183	92.5
全農宮城	1,163,353	95.4	1,177,762	96.2	1,074,236	90.7	1,058,794	89.1	1,005,319	90.5	984,634	95.8	6,464,098	47	92.9
宮城酪農	2,043,952	94.4	2,082,788	94.4	1,899,335	92.0	1,808,133	88.4	1,738,593	91.7	1,720,183	95.1	11,292,984	83	93.2
宮城県計	8,076,635	92.2	8,280,568	95.5	7,654,998	92.4	7,381,351	88.4	7,029,702	91.9	6,965,283	93.6	45,388,537	313	92.7

月 団体名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		下半期計		
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		出荷戸数	前年比
みやぎの	4,465,311	92.2	4,319,990	93.7	4,429,096	92.7	4,519,806	91.8	4,294,161	89.8	5,022,621	98.6	27,050,985	181	93.2
全農宮城	1,037,595	93.6	1,015,976	96.3	1,070,653	97.5	1,127,792	97.5	1,074,046	95.5	1,222,031	101.6	6,548,093	45	96.8
宮城酪農	1,837,599	96.1	1,819,225	100.1	1,882,871	98.1	1,948,287	98.1	1,785,696	93.3	2,007,618	96.2	11,281,296	82	96.8
宮城県計	7,340,505	93.3	7,155,191	95.6	7,382,620	94.2	7,595,885	94.2	7,153,903	91.5	8,252,270	98.5	44,880,374	308	94.6

団体名	令和6年度計	令和7年度計画	
		出荷戸数	前年比
みやぎの	54,682,440	181	92.8
全農宮城	13,012,191	45	94.8
宮城酪農	22,574,280	82	95.0
宮城県計	90,268,911	308	93.6

(生産支援課 村田 孝志)

NAR 地方競馬全国協会 岩手競馬（盛岡・水沢開催）6・7月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	盛岡							水沢							水沢							水沢								水沢	
7月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	水沢					盛岡							盛岡							盛岡							盛岡				

※開催期間中の重賞レース

- ・6/1(日) 第26回あすなろ賞
- ・6/8(日) 第33回東北優駿
- ・6/15(日) 第10回早池峰スーパースプリント
- ・6/22(日) 第49回ウイナーカップ
- ・6/29(日) 第53回一條記念みちのく大賞典
- ・7/6(日) 第18回サファイア賞
- ・7/8(火) 第13回ハヤテスプリント
- ・7/13(日) 第57回岩鷲賞
- ・7/15(火) 第5回いしがきマイルス
- ・7/20(日) 第38回やまびこ賞
- ・7/21(祝・月) 第29回マーキュリーカップ(メイセイオペラ記念)
- ・7/22(火) 第26回若鮎賞
- ・7/27(日) 第47回せきれい賞

令和7年度全農宮城県本部畜産部の事業方針

全農宮城県本部畜産部

世界的に頻発している異常気象に加え、国内外の社会経済情勢が大きく変化する中、我が国では昨年「食料・農業・農村基本法」が四半世紀ぶりに改正され、その基本理念に食料安全保障の確保が掲げられた。持続可能で強固な食料供給基盤の確立が図られている一方で、出口の見えないウクライナや中東での紛争など、今なお国際情勢は不安定な状況が続いている。このような先行き不透明で将来の予測が困難な時代の中で、和牛生産については、足腰の強い持続的な成長を可能とする生産体系を目指し、より一層の生産基盤の強化が求められている。

現在の和牛飼養頭数の減少傾向については、配合飼料や生産資材の高騰に加えて、枝肉相場の低迷による肥育農家の購買意欲減退が子牛価格に影響し、繁殖農家の廃業や経営規模縮小などが起きているためと考えられる。

また、新型コロナウイルス感染症の終息以降、国内でもECサイトによる通信販売が急激に拡大するなど、消費構造や消費ニーズが大きく変化する中で、和牛肉については、物価高に伴う消費者の生活防衛意識の高まりによって需要が落ち込み、牛肉国産品在庫数量は高止まりしている。

さらに、畜産業の世界的な課題は、二酸化炭素（CO₂）やメタン（CH₄）といった温室効果ガスの排出源の一つとされていることや、畜産のための土地利用や水の使用量も多大であり、森林の破壊や水資源の枯渇といった環境への影響も今後は深刻な課題となる。

こうした厳しい情勢の中、JAグループとして、県行政等関係機関と連携し、耕畜複合経営や地域内耕畜連携による水田を活用した資源循環型農業の推進、作業の外部委託に係る仕組みづくりによる労働力負担の軽減や規模拡大のサポートの推進、そしてスマート技術の普及と導入支援などによる生産性向上対策の推進に取り組む。

また、畜産経営担い手育成研修事業をはじめとした、知識・技術の習得による人材育成、担い手への活動支援に取り組むなど、地域の生産基盤の維持・強化を図る。

さらに、県本部として、子牛市場を核とした需要を踏まえた、和牛の育種・改良・生産指導事業の強化、隣県家畜市場と連携した子牛市場のリレー開催、そしてブランド力・輸出対応の強化など、販売戦略の構築・実践に取り組み、販売力を強化する。

特に、和牛生産基盤の維持に向けて、優良雌牛の保留強化、県内雌牛集団の整備を進め、発育良好で産肉能力・種牛能力に優れた子牛生産の促進に取り組むとともに、分娩間隔の短縮、適正出荷の促進、乳用牛による和牛受精卵移植の普及拡大、和牛繁殖農家における飼養頭数の拡大など、生産性の向上とあわせた中長期的な増頭に取り組む、再生産を可能とする所得の確保、そして中核となる家族経営体の担い手確保、空き牛舎を活用した和牛子牛生産に向け関係機関と連携した取り組みを検討実践する。

また、令和9年8月に開催される「第13回全共北海道大会」に向けて、食味の向上が期待される「脂肪の質」等の改良、「地域の特色ある牛づくり」の充実など、更なる飛躍を目指して着実に準備を進め、本県の和牛育種・改良事業の一層の発展と畜産振興を図る。

1. 畜産生産基盤維持・拡大の取組強化

(1) 繁殖牛生産基盤の維持・拡大

- ア. J A及び各地域育種・改良組合と連携した生産指導の実施
J Aの子牛登記業務の内製化と生産指導体制の強化
- イ. 飼養管理改善による和牛生産効率の向上
肉用牛総合対策事業による分娩間隔の短縮促進(2030年目標:年1産)
- ウ. 簡易牛舎貸付事業による維持・拡大
- エ. 初妊牛生産事業による和牛繁殖牛供給・優良子牛生産
- オ. 優良雌牛保留対策事業による優良雌牛保留

2. 家畜市場事業の取組強化

(1) 子牛市場取扱頭数の維持・拡大

- ア. 隣県市場とのリレー開催による購買者誘致強化

(2) 肉用牛総合対策事業による子牛市場における適正出荷の促進

- ア. 2030年目標:平均出荷日令270日

3. 肉畜販売事業の取組強化

(1) 仙台牛・仙台黒毛和牛、宮城野豚・しもふりレッド等銘柄推進と販売強化

- ア. J AやJ A全農くみあい飼料(株)と連携した系統取扱頭数の維持拡大

(2) SNSやECサイト等を利用した販売促進など地産地消・消費拡大の取組強化

- ア. 指定店等フェアや独自企画など購買者・指定店等との連携による販売強化

(3) 牛肉輸出事業の取り組み強化

4. 生乳計画生産の取組強化

(1) 酪農生産基盤の維持・拡大及び計画的な生乳生産の着実な実行

(2) 生乳流通体制合理化への取り組み強化

5. 全国和牛能力共進会対策の取組強化

(1) 出品対策事業の強化

- ア. 第13回全国和牛能力共進会宮城県出品対策協議会による計画策定・実施
- イ. 脂肪の質等枝肉情報の収集・利用:畜産生産力・生産体制強化対策事業を活用
- ウ. 宮城の特色ある繁殖基盤整備

6. 担い手活動取り組み強化

(1) 担い手育成・組織活動の強化

7. 生産振興事業取り組み強化

(1) 飼料用米や子実とうもろこし給与の普及推進と給与牛豚の販売戦略強化

以上

(畜産部 佐藤 潤)

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト(<http://www.keiba.go.jp/>)でもご覧になれます。

(担当:審査部登録課 電話03-3583-2142)

令和6年度家畜共済事業実績について

NOSA | 宮城

令和6年度の家畜共済事業実績を報告いたします。

1. 引受関係

現在、畜産業は非常に厳しい状況にあり廃業が加速しております。農業者の廃業等による戸数の減少も影響し引受頭数は延べ202,050頭（前年比96.5%）となりました。

共済金額について、引受頭数の減少に加え令和6年度適用の共済価額の減少により、全体では55,128,096千円（前年比93.3%）となりました。

2. 事故関係

死亡廃用事故件数について、頭数は乳用牛で285頭減少、肉用牛では317頭減少し全体で451頭減少（前年比90.8%）となりました。病類別にみるとウイルス病など増加しているものもありましたが、子牛・胎子の新生子異常が210頭減少しました。近年増加傾向にある牛伝染性リンパ腫による事故については、前年度より13頭増加し死亡廃用事故全体の3.5%と前年度より0.7%増加しました。

支払共済金は、事故頭数が減少したことと事故家畜の評価額が減少したことで688,690千円（前年比85.4%）となりました。

病傷事故については、乳用牛で590件、肉用子牛で1,277件の減少となりましたが、肉用成牛では327件増加し、全体で1,542件（前年比96.4%）の減少となりました。病類別でみると、乳用牛と肉用牛の両方で呼吸器病が991件増加、皮膚病やウイルス病も若干の増加となりましたが、その他は減少となっています。

支払共済金については、前年度より15,377千円増加（前年比102.7%）しており、これについては、抗生物質など単価の高い薬剤を使用する呼吸器病が増加していることなどで、1事故当たりの金額が増加していることによるものです。

令和6年度家畜共済事業実績

		引受（加入）			死廃事故			病傷事故		
		頭数 頭	共済金額 千円	共済金額前年比 %	頭数 頭	支払共済金 円	共済金前年比 %	件数 件	支払共済金 円	共済金前年比 %
家畜	死亡廃用共済	乳用牛	17,317	3,409,286	97.8	1,035	131,718,475	69.0		
		肉用牛	110,542	49,648,921	92.7	3,242	554,000,710	90.2		
		一般馬	2	1,303	41.5	0	0	0.0		
		種豚	1,945	117,618	106.1	17	468,800	1,395.2		
		肉豚	14,813	260,709	213.0	135	2,254,024	—		
		種雄牛	9	4,562	101.4	1	248,000	—		
		計	144,628	53,442,399	93.2	4,430	688,690,009	85.4		
	疾病傷害共済	乳用牛	11,990	446,408	89.3			8,208	136,595,098	97.8
		肉用牛	45,412	1,238,798	95.9			32,531	443,557,872	104.3
		一般馬	2	45	99.9			0	0	—
		種豚	9	65	43.6			1	10,350	68.0
		種雄牛	9	381	97.2			1	33,426	56.4
		計	57,422	1,685,697	94.1			40,741	580,196,746	102.7
	合 計	202,050	55,128,096	93.3	4,430	688,690,009	85.4	40,741	580,196,746	102.7

組合では、特定損害防止事業で令和6年度より新たに新生子異常の損害防止事業に取り組み、死亡事故発生の低減効果を認めましたが、依然、胎子死等の新生児異常の割合が死亡事故全体の中で高いのが現状です。

新生子異常を防ぐためには妊娠期間中の飼養管理を適切にすることや初乳を十分量給与することが重要です。また、幼齢期の下痢には、妊娠末期の母牛に対するワクチン接種が有効です。原因や対策は農家ごとに異なりますので獣医師にご相談ください。

NOSA | 宮城では、畜産経営安定のため、これからも丁寧な説明による加入推進を行ってまいります。制度や補償内容についてお気軽にお尋ねください。

(第二事業部家畜課 原 英博)

家畜の病気と向き合う ～牛伝染性リンパ腫の対策について～

NOSA | 宮城

牛伝染性リンパ腫はウイルス（略称：BLV）によって引き起こされる悪性腫瘍疾患で、血液（白血球）を介して感染する病気です。

感染を起こしても発症するとは限らず、症状が出ないまま感染源となり、感染が広がってしまう問題があります。多くは長期にわたり症状を示さず、発症した場合は、リンパ節腫脹、消瘦、元気消失、眼球突出、下痢、便秘など様々な症状を呈し、最終的には死亡します。

発症した場合は有効な治療方法は無いので、予防することが何よりも大切です。感染牛と非感染牛を把握し、できることから対策していきましょう。

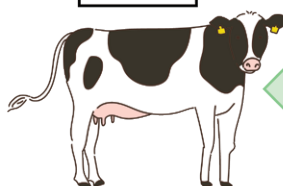


人為的要因の対策



注射針や直腸検査に用いる手袋を
使いまわさない。

感染牛



分離飼育



出生した子牛

吸血昆虫を介した感染を防ぐため感染牛から
出生した子牛は、できるだけ母牛の初乳を飲
ませずに初乳製剤を給与し、分離飼育する。

他には…

除角や鼻環通し等に使う器具類
は1回毎に洗浄する。

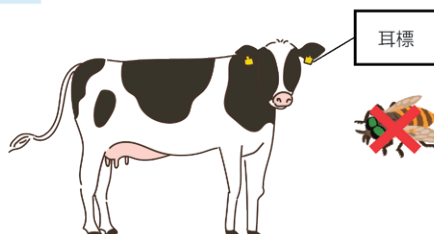
感染牛が分娩する際は、他の牛が接触
しないようにする。



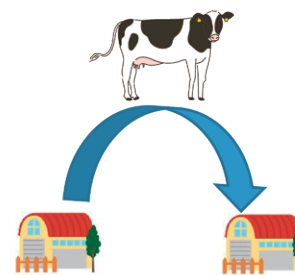
環境要因の対策



吸血昆虫（アブやサシバエ）に刺されない
ようネットを張る。アブは2～3mの高
さを超えないため、ネットの高さは天井
まで届く必要はありません。



非感染牛への感染を防ぐため、感染
牛もしくは非感染牛のどちらか一
方に耳標型吸血昆虫駆除剤等を設
置する。



分離飼育する際、異なる牛舎が理想
的。同一牛舎の場合は、一端に配置
し、空房や通路を使って4m以上の
間隔を作る。

吸血昆虫
対策は…

アブに対しては網目1cm以下、サシバエ
には2mm以下のネットが有効。

虫の口器に付いた血液が乾くと感染能力を
失うため迂回させるだけでも効果あり。

〈畜試便り〉

新しい飼料作物奨励品種の紹介

宮城県畜産試験場

畜産試験場では、県内における栽培に適した飼料作物の選定を行うため、栽培試験を実施し品種の生産性・生育特性を調査しています。今回は、新しく宮城県の飼料作物奨励品種に指定された飼料用トウモロコシ（子実利用型）1品種について紹介します。

〔飼料用トウモロコシ（子実利用型）〕

飼料用トウモロコシ品種「ゴールドデントKD460（品種名：DKC4444）」が3年間（令和4年～令和6年）の品種比較栽培試験の結果、奨励品種に指定されました。「ゴールドデントKD460」は、収量性等について標準品種「ネオデントエスパス95（品種名：SL0746）」と同等の能力を有します。栽培管理については、「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本としてください。

表1 主要な品種特性

商品名	早晩性	メーカー RM	乾物 収量	TDN 収量	耐倒 伏性	耐病性	赤カビ 耐性	特徴	栽植本数の目安 (本/10a)
ゴールドデントKD460	極早生	95	○	○	○	○	○	標準品種同等	8,000
ネオデントエスパス95	極早生	95	○	○	○	○	○	(標準品種)	8,000

凡例 ◎：優れる、○：並

※畜産試験場において5月上旬に播種し、発芽から収穫期までの調査結果（R4～R6）による。

表2 初期成育および熟期（畜産試験場3か年平均）

商品名	播種日	発芽日	雄穂 抽出期	雄穂 開花期	絹糸 抽出期	黄熟期
ゴールドデントKD460	5/10	5/17	7/12	7/12	7/13	8/15
ネオデントエスパス95	5/10	5/17	7/9	7/11	7/10	8/14

表3 収量性（畜産試験場3か年平均）

商品名	収穫日	茎葉乾物重 (kg/10a)	雌穂乾物重 (kg/10a)	総体乾物重 (kg/10a)	子実乾物重 (kg/10a)	子実含水率 (%)
ゴールドデントKD460	9/11	776	1,038	1,814	928	22.9
ネオデントエスパス95	9/11	791	1,035	1,826	912	24.3

(草地飼料部 杉本 達郎)

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来
へ向けて畜産DXの取り組み／乳用牛改良の
取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産！
ほか



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

がんばる!畜産!8

畜産映像情報



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846



宮城県豚銘柄推進協議会

宮城県産黒毛和種



仙台牛銘柄推進協議会

6月1日は

牛乳の日
WORLD MILK DAY

宮城県牛乳普及協会

〈衛生便り〉

牛のサルモネラ症について

宮城県大河原家畜保健衛生所

サルモネラ症はサルモネラ菌による感染症で、子牛や成牛に下痢や発熱を引き起こし、重症化すると死亡する場合があります。近年、国内での牛のサルモネラ症の発生が増加しています（農林水産省 監視伝染病発生年報H17～R6）。特に令和5年は全国で639頭の発生を確認し、過去最高の発生頭数を記録しています。

県内においても散発的な発生が確認されており、管内においても、令和6年12月に酪農場で発生しましたが、関係機関の協力と農場のご努力により以後の発生は確認されていません。本事例を通じて得た知見も含め、農場での衛生管理の向上に役立てられるように、本稿では、牛のサルモネラ症の基本情報および予防策について取り上げます。

●サルモネラ症の原因

サルモネラ症は、サルモネラ菌による感染症であり、特にサルモネラ ダブリン（SD）やサルモネラ ティフィムリウム（ST）といった菌種が牛では問題となっています。

●感染経路

サルモネラ菌は感染した動物の糞便中に排泄されるため、糞便に汚染された飼料、水の摂取や保菌牛の導入等により感染が広がります。

●主な症状

主な症状は、下痢（時に血便、悪臭）、発熱、食欲不振、元気消失などです。急性経過で死亡する場合もあり、慢性化すると腸炎による脱水や消瘦が進み、子牛の場合発育不良となることがあります。また、成牛では流産や泌乳量の低下もみられることがあります。

●予防策

- ・牛の健康管理：適切な飼養管理で牛の体調を良好に保ちましょう。加えて、生菌剤投与及びワクチン接種が推奨されます。
- ・衛生管理の強化：牛舎や器具の清掃・消毒、給水設備の定期的な点検と新鮮で清潔な水の給与、飼料への野生動物等の糞便の混入防止等が重要です。

●感染が疑われたら

- ・早期発見が重要です。すぐに病牛を隔離し、獣医師へ連絡してください。
- ・汚染された器具や施設の消毒を徹底し、感染拡大を防ぎましょう。

●発生時の対応

- ・治療等：発症牛を中心とした抗生物質による治療、生菌剤投与及びワクチン接種による発症予防対策を行います。
- ・検査：農場が清浄化するまで繰り返しの検査を実施します。
- ・消毒の強化：牛床、器具、飲水設備など、農場全体の一斉消毒を実施します。
- ・ヒトの管理：人にも感染します。従事者のマスク着用、手洗いの励行をお願いします。

サルモネラ症の予防は、毎日の小さな衛生管理の積み重ねが重要です。農場全体で取り組み、健康な牛の飼育を目指しましょう！

(大河原家畜保健衛生所 高野 泰司)

〈農業大学校生の抱負〉

将来のために

宮城県農業大学校 畜産学部 2学年 佐竹 丞汰朗



私の家では、10年ほど前まで祖父が畜産業を営んでいました。しかし、祖父が事故に遭い畜産を辞めることになり、今は使われなくなった畜舎だけが残っています。私は、将来その畜舎を使用して畜産業を営みたいと考えています。

そのために、足りない知識を補い、更に資格を取得して将来の経営に生かすために宮城県農業大学校に入学しました。1年生の頃には、農学基礎実習で野菜の栽培から収穫・販売までを行いました。また、農家さんに1か月間研修に行く先進体験学習では登米市の有限会社N.O.A.にお世話になりました。N.O.A.では、畜産業を仕事にする際に大切なことや気を付けなければいけないことなどを教えていただき、様々な体験を通して、知識だけでなく実践的な技術を学ぶことができました。

無事に2年生に進級することができた私は、現在、家畜人工授精師の資格取得に向けて先生方の指導のもと、勉強に励んでいます。家畜人工授精師の資格は、将来畜産経営をする上で必ず必要なものだと考えているので、何としてでも取得したいと思っています。

また、卒業論文にも取り組んでおり、炭を用いた畜舎内の悪臭対策をテーマとして研究しています。これは私が将来就農したときに、悪臭のする畜舎では働きたくないという思いから決めたテーマです。この研究をやり遂げ、その結果を将来の自分の経営に取り入れ、自分のやりたい畜産業に近づけたいと考えています。

2年生に進級してからは1年生のころとは比にならないほど忙しくなり、投げ出したくなることもありますが、ここで折れずに踏ん張り、残りの大学校生活の10ヶ月を有意義なものにして、楽しく過ごしたいと思っています。将来のために、これからも気合を入れていきたいです。

第60回宮城県ブラックアンドホワイトショウ開催のお知らせ

宮城県ホルスタイン改良同志会

ホルスタイン種の改良、普及奨励並びに飼育管理・育成技術の研鑽と併せ、会員の親睦を図り、本県ホルスタイン種の改良に資することを目的とした、第60回宮城県ブラックアンドホワイトショウを下記のとおり開催することとなりましたので、是非ご来場ください。

- 1 開催日 令和7年6月21日(土) 午前9時50分開会
- 2 場所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
- 3 審査員 北海道広尾郡広尾町 酪農家 佐藤 孝一 氏
- 4 出品予定頭数 50頭
- 5 出品区分

未 経 産		経 産	
第1部	生後12ヶ月未満	第5部	生後36ヶ月未満
第2部	生後12ヶ月以上16ヶ月未満	第6部	生後36ヶ月以上48ヶ月未満
第3部	生後16ヶ月以上20ヶ月未満	第7部	生後48ヶ月以上60ヶ月未満
第4部	生後20ヶ月以上	第8部	生後60ヶ月以上

(事務局 一般社団法人宮城県畜産協会家畜改良課)

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

販売月	肉専用種(宮城県)	交 雑 種(全国)	乳 用 種(全国)
令和7年1月 (概算払)	(16,606.1円)	—	(46,238.6円)
精算払	23,606.1円	—	53,238.6円
2月 (概算払)	—	—	(25,234.4円)
精算払	—	—	32,234.4円
3月 精算払	—	—	21,478.5円

◎肉用子牛生産者補給金(子牛補給金)の交付金単価 令和6年度第4四半期

	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
補給金単価	—	—	49,900円	—	—

◎優良和子牛生産推進緊急支援事業の奨励金単価 令和6年度第4四半期

	取組数2	取組数3	取組数4以上
奨励金単価	10,000円	20,000円	30,000円

※平均販売価格が発動基準価格(570,000円)を下回ったため、最高で30,000円が交付されます。

◎肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の交付金単価 令和6年度第1～4四半期 交付なし

感動を呼ぶ製品をめざして ORION ハードシステムとソフトシステム (ビフォー・&・アフターサービス)で あなたの経営を応援。 これがオリオンの思想です。 中央オリオン株式会社 宮城営業所 千989-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号 TEL: 0229-26-4330 FAX: 0229-26-4338	 農業共済新聞	次の一手を未来につなげたい 総合印刷企業 株式会社 東北プリント 千980-0822 仙台市青葉区立町24番24号 TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986 E-mail mail@tohokuprint.co.jp
---	---	---

〈New face〉

宮城県農政部畜産課

倉部 絢乃



はじめまして。令和7年4月より農政部畜産課草地飼料班に配属されました倉部絢乃と申します。出身は山形県鶴岡市で、今年3月に酪農学園大学農食環境学群循環農学類を卒業しました。

大学では中小飼養学研究室に所属しており、ブレンド茶粕サイレージを市販飼料に5%配合して豚に給与し、発育と産肉にどのような影響を及ぼすかについて研究を行っていました。また、大学では馬術部に所属しており、大会に出場したり、馬のセリのお手伝いをしたりするなど、様々な経験をしてきました。

私の業務内容は主に飼料に関する業務で、具体的には自給飼料生産拡大を推進するための事業や県内で流通する飼料の安全に関する事業などを行っています。業務を行う上で、知らないことが多く勉強の毎日です。

至らないところが多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも早く知識を増やして、皆さんに貢献したいと考えています。よろしくお願いいたします。

宮城県大河原家畜保健衛生所

佐藤 奈穂



令和7年度より宮城県農政部大河原家畜保健衛生所に配属になりました佐藤奈穂(なお)と申します。宮城県出身で、令和7年3月に宮城大学食産業学群を卒業いたしました。大学では、食産業について川上から川下まで幅広く学んできました。4年次の卒業論文では動物遺伝育種学研究室に所属し、大豆発酵物(味噌)におけるアルツハイマー型認知症予防効果因子に関する研究を行いました。こうした経験を通じ、「食」の分野から地元宮城県に貢献したいという思いを抱き、宮城県職員を志しました。

現在、大河原家畜保健衛生所では、畜産振興や家畜改良に関する業務などを担当しております。畜産分野の知識や技術についてはまだまだ未熟な部分が多く、毎日が学びの日々です。先輩方から多くのことを学びながら、宮城県に貢献できるよう精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

宮城県北部家畜保健衛生所

竹内 渚



令和7年4月より宮城県北部家畜保健衛生所の指導班に配属となりました、竹内渚と申します。出身は宮城県白石市で、令和4年3月に岩手大学農学部を卒業しました。大学では遺伝育種学研究室に所属し、妊娠中の動物から検出される物質について研究を行っていました。大学卒業後、不妊治療を行うクリニックで受精卵や精子を扱う胚培養士として勤務した後、宮城県職員として再就職させていただくこととなりました。

現在は自給飼料生産に関する業務や畜産クラスター事業、酪農・畜産の振興に関する事業など幅広い業務に携わっています。

配属されて約1ヶ月が経ちますが、自身の知識不足や経験不足を痛感しており、業務に関しても至らぬことばかりです。これから先輩方にご指導を頂きながらできるだけ早く仕事を覚え、宮城県の畜産の発展に貢献できるよう努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公営社団法人 一般社団法人

中央畜産会 × 宮城県畜産協会

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。



〈New face〉

宮城県東部家畜保健衛生所

菅原 孝介



初めまして。令和7年4月より宮城県東部家畜保健衛生所の指導班に配属となりました、菅原孝介（すがわらこうすけ）です。出身は山形県鶴岡市で今年3月に弘前大学農学生命科学部を卒業しました。大学ではリンゴジュース粕発酵飼料が羊肉の香気成分に与える影響（リンゴジュース粕発酵飼料を与えた羊と与えていない羊の羊肉の臭い物質の違い）について研究していました。宮城県に住むのは初めてなのでわからないことだらけですが、これから色々な経験を通して今まで知らなかった宮城県の魅力を探していきたいです。

現在働き始めて1か月が経ちましたが、自分の知識不足と経験不足を感じる毎日です。畜産の知識が足りず先輩と農家さんの会話についていけないことをもどかしく思うことも多々あります。これから、職場の先輩方にご指導いただきながら、一人前の県職員になれるよう精一杯努力したいと思います。至らぬ点多くあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

宮城県畜産試験場

河野 優紀



はじめまして、令和7年4月より宮城県畜産試験場種豚家きん部に配属となりました、河野優紀（かわの ゆうき）と申します。出身は神奈川県で、麻布大学獣医学部動物応用科学科を卒業しました。大学では生物科学総合研究所に所属し、国内におけるダニの病原体保有状況を研究テーマとして取り組んでいました。各地から採集したダニからDNAを抽出し、PCRを用いて病原体の分布状況を調査していました。畜産試験場では豚の抗病性遺伝子型検査を行っており、これまでの経験を活かすことができ嬉しく思っています。

現在、畜産試験場では、系統豚「しもふりレッド」の維持や健康・飼養管理、また、優れた形質を持つ豚の生産に関する試験研究などに携わっています。学生時代は実験用の小型げっ歯類を扱う程度で、実際に豚に触れるのは今回が初めてです。そのため、飼養管理ひとつとっても苦戦する毎日ですが、上司や現場の方々からのアドバイスに日々助けられております。宮城県の畜産振興に貢献できる一人前の県職員を目指し、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人みやぎ農業振興公社

畜産・農村振興部 白石牧場 阿部 未奈



はじめまして。今年度4月から畜産・農村振興部白石牧場に配属となりました、阿部未奈と申します。令和6年3月に酪農学園大学を卒業し、昨年度から臨時職員として白石牧場で勤務しております。

幼いころから母の実家で酪農を営んでおり、身近に牛の存在がある環境で育ちました。もっと牛について学びたい！と思い、小牛田農林高校に入学しました。そこで共進会や和牛甲子園を通し、宮城の畜産・和牛の魅力に触れ、将来は宮城で畜産関係の職に就きたいと思い、資格取得のため、酪農学園大学に進学しました。

酪農学園大学では、実習や研究室活動で和牛に関する繁殖技術や肥育について学び、資格取得に励みました。

これまで、学んできた知識や技術を生かし、人工授精や受精卵移植からなる優良な子牛生産・供給と肥育牛の飼養管理など、「宮城の農家さんのための公社」の一員として自分にできることを、精一杯取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。

宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ宮城営業所

仙台市泉区泉中央4丁目19-1 TEL022-347-4138

小田島商事(株)

大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

MPアグロ(株)

仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム

仙台市泉区八乙女3-3-1 TEL022-343-5301